

# 春V光星 短い夏

## 焦点

昨秋、今春の早番・八学光星がよもやの逆転負けを喫した。中盤以降は攻守で、ひたひたに影を潜め、

## 「らしき」影潜め逆転負け

最大5点のリードを守り切れなかった。勝ち誇るライバルを横目に、サインは力なくなだれ、大粒の涙を流した。初回に久守雄志が3点本塁打を放つなど三回までに5得点、守りも、先発の森優太が出した走者は四球

四回は三番凡退。追い付かずに迎えた五回、単打にバントを絡めて再びリードを奪ったが、六回以降は三塁に走者を進められなかった。結果的にフライアウトが15に上った。チームが目指す「逆らわない打撃」は実践できなかった。久守は外に來ると分かっていただけ



【弘学聖愛―八学光星】2回八学光星が死一、二塁、横山永遠が中前適時打を打ち、4-0とする

ら打席の内側に立つなど、したのには、準々決勝で同じ工夫するべきだった」と唇をかんだ。守っては、前評判が高かった3人の継投でも本塁打2本を含む長打を浴びるなど、相手打線の反撃をした。相手が上ったと認められなかった。八学光星が「夏の県大会で決勝進出を逃した。」(上村八穂)

### 第103回 全国高校野球選手権 青森大会

弘学聖愛	0	0	3	0	2	0	1	1	0	7
八学光星	3	2	0	0	1	0	0	0	0	6

- (弘) 齋藤禅、葛西一松坂
- (八) 森、洗平、横山一伊藤
- ▷本塁打 町田、木村(弘) 久守(八)
- ▷三塁打 町田、丸岡(弘) ▷二塁打 葛西(弘) 深野(八) ▷暴投 齋藤禅(弘) 森(八)
- ▷試合時間 2時間9分
- (球審=梅田、塁審=工藤学、小西、小松)

【評】弘学聖愛が最大5点差をひっくり返して逆転勝ち。三回は町田の2点三塁打、五回は町田の右越え2ラン、七回は木村の右中間ソロで同点。八回に佐藤の右前適時打で勝ち越した。八学光星は久守の3ランなどで二回までに5点をリードしたが、三回以降は打線がつながらず、投手陣も踏ん張れなかった。